

てしお

第 123 号

平成 20 年 11 月

議会だより



はまなすコーラス（天塩町民文化祭 / 10月26日撮影）

目次

○補正予算の内容	2 頁
○一般質問（5氏10件）	
・石山議員「公共駐車場の使用料」	3 頁
・渡辺議員「夕映管理経費」	3 頁
・菊地議員「支庁制度改革」	4 頁
・川端議員「財政健全化の推進」ほか2件	5 頁
・遠藤議員「福祉灯油制度」ほか3件	7 頁
○意見書・臨時会	9 頁
○各会計決算審査、所管事務調査報告	10 頁
○ふるさと応援寄附条例の制定など	12 頁

第6回天塩町議会定例会

9月定例会は、9月18日から19日までの2日間の会期で開かれ一般質問のあと、19年度各会計決算(審査特別委員会で審査)、ふるさと応援寄附条例の制定のほか、20年度補正予算6件、意見書5件、教育委員の同意などを審議し、原案のとおり可決しました。

一般会計 補正予算

一問一答

●財産管理費の賃金 遠藤議員

境界確定の賃金と思うが、この用地の境界区域か。

行政改革課長

雄信内400番地の16の一部を留萌地区農業共済組合に貸付けるためと、

泉源教育会館の区域確定に使用。

遠藤議員

雄信内の土地は、所管調査のとき一部貸付けはすべきではないと言ったが。

行政改革課長

協議はしたが、住宅の用地分だけとなった。

●企画振興費の需用費 遠藤議員

42万円は何に使われるのか。

企画商工課長

ふるさと応援寄附に関する経費で、募集PRチラシ作成と、寄附者へのお礼の絵葉書である。

平成20年度一般会計補正予算(第3号)は、1,976万6千円を追加し、総額を39億8,638万4千円としました。

歳入	
畜産担い手育成受益者分担金	△ 170
天塩地域土地所有状況調査委託金	610
後期高齢者保険基盤安定負担金	7,500
さけ稚魚生産放流能力整備ほか	1,285
代替輸送確保基金	320
前年度繰越金	35,221
北海道市町村備荒資金組合支消金	△ 25,000
計	19,766

歳出	
総務管理費ほか	3,472
国民健康保険特別会計繰出金	△ 24,353
老人保健特別会計繰出金	△ 6,600
後期高齢者医療特別会計繰出金	40,369
その他	1,587
火葬場・霊園管理経費ほか	386
一般経費ほか	416
しじみ資源保護対策事業補助金	△ 2,250
さけ稚魚生産放流能力整備補助金	1,200
商工振興事業補助金	2,500
中体連体育大会参加補助金	1,386
予備費	1,653
計	19,766

●代替バス経費 遠藤議員

管理経費の32万円の内容は。

住民課長

稚内信金隣の待合所が、凍結等で段差ができたため修理するもの。

●民安ダム管理経費 遠藤議員

農林水産課長

管理経費20万1千円の内容は。無停電装置の修繕である。

●町営牧場管理経費 遠藤議員

管理経費の10万5千円。町営牧場は、指定管理なのに何の経費か。

農林水産課長

揚水場の配電盤修理である。軽微なものは公社負担としているが、町施設は町負担としている。

●さけ稚魚生産放流補助 遠藤議員

農林水産課長

歳入で補助金120万円、歳出も同額だが、その事業の内容は。

農林水産課長

(社)留萌管内鮭ます増殖事業協会の事業で、今まで増毛に道立の施設があつたが、水不足等により中川・美深に分けてやろうとする事業である。



質問
 公共施設の駐車場（資料館、ミレニアム公園等）は施設利用者のためにあり、付近住民の車両の保管場所ではないと考える。
 町は注意、指導は行っているのか。また、今後の対策は。

一般質問 **石山直継 議員**

公共駐車場の使用料の検討は

町長 有料化は難しい

町長

4月14日に総務文教常任委員会と共に各施設を巡視しましたが、ほとんどの駐車場に車がない状態でした。長期に駐車している方には車を移動していただきました。

今後、除雪の妨げや交通機関の障害にならないよう、立て看板などの設置や、町内回覧などを配付して住民に周知したいと考えています。

質問

冬期間一定の理由があり、やむを得ず長期に車を駐車する方には、公平な町政として目的を定めた寄附をお願いしてはどうか。

3月議会で、今後は年間駐車料金を検討したいとしていたが、検討はどうなったのか。行財政改革を行い、町民に幅広く手数料・使用料をお願いしており、駐車場についても協力



ミレニアム公園駐車場を現地調査する
 総務文教常任委員会（4月14日）

を願うのは当然であると思うが。

町長

今冬状況を何度か確かめたいと思っておりますが、一般住民が対象です。慎重に取計らう考えです。

管内では、公共駐車場の駐車料金を貫つているところはないようです。町としても、公共駐車場を利用していただくという意味から、有料化は難しいと考えています。

一般質問 **渡辺修勝 議員**

夕映の管理経費に5千万円 今後も出し続けるのか

町長 経費節減に総点検し 最大限努力します

質問
 保養センターオープン時の平成12



年から19年度までの管理運営経費と利用者数は。

今回の財政健全化計画で、保養センターには触れられていない。

指定管理は来年3月で契約切れになるが、町の負担を少しでも抑えるような方法を検討しているのか。

町長

当初の支出経費見込みより2千200万円程度増えています。重油の値上がりによる燃料費で1千万円、水道料と下水道料で370万円、保守委託料で790万円の増となっています。

18年度からは林業研修センター含め、経費節減と効率的な運営を目指して、指定管理者制度を導入しており約840万円の節減となっています。

今後の契約は、入浴者の減、燃料の高騰など非常に厳しい状況ですが、経費の節減がどこまでできるのかを含め煮詰めたいと考えています。
 （利用者数・経費は別表参照）

質問

利用者の減少で、更に収支が合わなくなる。その対策は。

保養センターは今後、給湯設備等の老朽化に伴い、改修が見込まれる。改修計画はどうなっているのか。

現在の指定管理者者に引続き継続する意思を確認しているのか。

町長

利用者は今年、自衛隊の訓練宿营地が決まり少し増えてきており、そのほか、町民の方々の協力を求めるとともに、できる限り観光客の誘致を考えていきます。

指定管理者者の慎重な検討が必要ですが、町がどの程度支援できるのかにもあり、その辺が大きな分かれ道になると思っています。

企画商工課長

予想される修繕は、温泉のボイラー2台で約800万円、温泉の制御装置関係の交換で500万円です。

このほかに、源泉汲み上げポンプ、源泉の圧送ポンプの交換関係も出て



「夕映」に訪れる入浴利用者

町民保養センター「夕映」 利用者数と経費

	利用者数 (人)	収 入 (千円)	経費 (千円)	収 支 (千円)
12年度	115,174	59,302	72,225	△ 19,517
13年度	130,266	59,719	86,270	△ 36,441
14年度	123,479	55,420	94,126	△ 47,503
15年度	120,123	51,813	98,286	△ 50,915
16年度	115,461	50,984	98,462	△ 51,651
17年度	109,991	45,661	99,306	△ 60,531
18年度	100,448	40,299	83,895	△ 50,544
19年度	93,805	35,621	83,895	△ 50,544
19-12年	△ 21,369	△ 23,681	11,670	△ 31,027

※「収支」は林業センター分も含む。18年度から指定管理

くるだろうと予想されています。

質問

耐用年数等を考えた時に、なぜ健全化計画で対応を講じなかったのか。経費の節減というのであれば、保養センターだけでも油の一般競争入札を行うべきだ。

また、今後も一般会計からの保養センター管理運営経費として、5千万以上の予算を計上し続けるのか。

町長

健全化計画に入れなかったのは、機械が何年もつか判明しにくく、またできる限り延命策を講じていたためです。修理が不可能な段階には、

議会と相談したいと思っています。5千万の持ち出しは大きな負担になっていきますが、温泉があることによつて、町内に与える経済効果も合わせて考えなければなりません。石油だけでなくて、関連する諸物価も高騰していますから、総点検と最大の努力をしたいと考えています。



菊地 敏 議員

一般質問

総合振興局は宗谷か道北に決める時期では

町長 できる限り時間を取り判断材料を集めたい

総合振興局となる参考人口

	市町村	人 口
道南	18	496,431
道央	31	792,797
後志	20	250,066
日胆	18	508,046
道北	31	596,142
宗谷	10	78,452
オホーツク	19	324,849
十勝	19	354,146
道東	13	345,948

質問

振興局となる支庁は規模を縮小し、総合振興局の出先機関となる。業務は限定され、5年間で予算や職員を4割カットする方針であるが、当町はどのような対応をしていくのか。

町長

最重要課題は、留萌振興局に残るのか、宗谷総合振興局に移るのか、どうしたら天塩町を守り、国や道の出先機関を継続設置できるのかです。庁内では、メリット・デメリットの内部協議・意見聴取を行いました。町の将来を左右する、大変重要な事項ですから、重要な判断を求められた場合には、町民の意見に耳を傾け、議会に相談をしながら、適切に対応したいと考えています。

質問

今が重要な判断の時、町民の意思で支庁を選択できるまたとないタイミングであろうと思うが、このままだと道北総合振興局の59



森づくりセンター、社会福祉事務所が入っている合同庁舎

万人31町村に天塩町が埋没してしま
うのではないか。宗谷の7万8千人
で、同じような産業形態の地域を選
択するよう喫緊に議論すべきに思う
がいかか。

町長

慎重な姿勢をとっているのは、道
の振興対策、道州制、地方分権、市
町村の合併勧告が絡み、今が誠に微
妙な時期だと思っているからです。

質問

できる限り時間を取り、情報収集
と動きを確実なものにしてから、判
断すべきではないかと思つていま
す。今、本町に農業改良普及センタ
ーを始めとする出先機関に18人の職員
がいます。この機関を大事にしてい
く必要もあると思つています。



一般質問

川端英嗣 議員

**収納率を上げて
健全化計画を進めるべき**

**町長 最大限の努力と
一層の督励に励みたい**

幌延町が臨時議会を開いて早々に
決めた。道の出先機関がぜひとも必
要だというのはよく分かるが、幌延
町が宗谷に行けば、森づくりセンタ
ーなどは宗谷から来ると懸念される。
早急に、町民の意思をくみ取り判
断していただきたい。

町長

ただ、傍観しているということでは

はありませぬ。宗谷に行った場合や
上川に行った場合の、もう少し具体
的なものをつかまえないと思つてい
ます。事務的には近い宗谷が有利だ
と思いますが、生活と町の将来、少
しでも有利な方が基本だと思いま
すので、町民と共通な認識のもと努力
したいと思えます。

質問

法人税・個人町民税の徴収不納分
や、上下水道料金等の未収額は。町
民に示した財政健全化計画は予定ど
おりできているのか。

町長

歳入不足を、残り少ない財政調整
基金から取り崩さなければならぬ
が、平成19、20年度はどうなのか。

(町税等の未収金は別表参照)

本年3月「町財政健全化計画」を
作成し、財政基盤を安定させるため
の様々な取組みに着手したところ
です。町税・使用料等の徴収率の上
に、今後も全庁体制で強化します。
基金等を枯渇化させないことが計
画の最大目標です。計画では、22年
度末の基金等残高を、8億5千400万
円としており、町財政の着実な健全
化と運営に取組んでいきます。

副町長

19年度財政推計では、基金の取崩
しが5億2千700万ほど見込んでいま

町税等 未納・未収金

平成19年度末

	現年課税分		滞納繰越分		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人町民税	65	3,455,790	169	7,819,374	234	11,275,164
法人町民税	1	50,000	2	180,000	3	230,000
固定資産税	43	3,740,800	112	6,886,202	155	10,627,002
軽自動車税	6	69,600	4	41,800	10	111,400
天塩保育所	5	737,120	3	285,800	8	1,022,920
住宅使用料	43	5,140,100	35	4,049,100	78	9,189,200
国保税	72	7,304,494	266	35,277,421	338	42,581,915
水道使用料	92	1,530,430	51	928,520	143	2,458,950
下水道使用料	32	470,920	11	311,190	43	782,110
介護保険料	7	167,500	8	378,000	15	545,500

質問

したが、3億6千450万円となり、1
億6千300万円ほど圧縮されています。
20年度は、2億4千万近くの基金の
繰出しを見込んでいますが、計画で
は2億5千万ですから、ほぼ計画ど
おり進んでいると考えています。

事務担当者は徴収率アップには当
然努力していると思うが、現年の未
収額2千900万円、これは努力次第
は改善できるものだ。納税相談で積
極的な対処、機敏な処理がされたの
か。今後の対策をどのように考えて

いるのか。

町長

徴収体制は、私自身が本部長になって最大限の努力をし、担当も日夜、徴収に努力しています。成果はまだ100%いってないということは、お詫びをしなければなりません。今後とも更に、一歩でも前進できるように努めます。

質問

徴収率向上策として、債権回収業者を使うとか、同じ稚内税務署管轄の3町で共同連携して行うとか方法

があるかと思うがどうか。

徴収率をもっとあげて、財政健全

化がこんなに進んだと胸を張られて、そして、小学校改築が少しでも早く実現させるべきだ。

町長

回収業者は、もう少し検討しなければならぬと思いますし、町の努力がどこまでできるのかの見極めも必要です。町民に不公平感を抱かせないよう最大限の努力と、一層の督励に努めたいと思います。

質問

道の駅横にスーパーハウスが建てられた。その利用は閲覧板では「特産品の販売と新たなユーザー獲得のためのデモンストレーション」町民

の方なら誰でも」、報道では「町民農園の野菜直売所」町民と近隣町村の住民等」となっており、それぞれの内容が違っている。目的と予算はどのようになっているのか。

町長

道の駅の利活用を高め、地場産品の販売促進、宣伝・紹介等を行う施設として設置しました。3年間程度設置する予定で、看板名は「手塩にかけた天塩産品直売所」としました。

副町長

財源は、情報交流センター管理経費のうちの50万円です。

利用者の範囲は、町民の利用を原則にしていますが、広域4町商工会事業として取組む場合は、町外の商工会の利用を許可する考え方です。利用期間は、原則連続1週間以内としています。

新聞報道は、口頭での説明であったために、内容が正確に伝わらなかつたものと思われ反省をしているところです。

質問

大変いい事業だと思うが、町民はこの文章では理解できないでいる。観光開発、地場産業の掘り起こしとして、将来に関わる大事なことであるので、議会に相談もない。周知方法も、報道に対して無神経すぎる。

町長

新聞等の報道の不手際についてはお詫びします。今後は、町民によく

理解されるよう手順を追っていくようにしていきます。

議会には、試験的にまず取組んでから協議しようと考えていました。今後、慎重に取組んでいきます。

川端英嗣 議員

一般質問

中小企業融資制度 利子補給の継続を

町長 継続に努力したい

質問

20年度執行方針で「商工業経営促進のための中小企業特別融資制度資金利息補給など引続き実施したい」としている。

条例に、平成21年3月31日限りとあるが、今年度で終了するののか。

一般質問

川端英嗣 議員

道の駅直売所の周知に 細心の注意を

町長 慎重に取り組みます



道の駅北側に設置された「直売所」

福祉灯油制度に 町独自の施策を

町長 広く行き渡るよう
検討したい



質問 自衛隊の宿营地整備（町有地）で発生した伐採木の処分結果と、住民の反応はどうであったのか。
福祉灯油制度は、昨年12月定例会の一般質問で、町長は町独自の手厚い支援を51世帯に行うとしたが、管内と比較した結果、世帯数割合で5分の1程度にとどまったことは、福祉行政に疑問を感じさせる。
本年度、町は福祉灯油制度を導入するが、どの様な支援対策を講じよ

町長

現在の条例は、21年3月で効力を失いますが、期限内に融資を受けた資金は、償還終了までの期間利子補

中小企業融資利子補給
金額：千円

	件数	補給額
16年度	58	2,280
17年度	65	2,204
18年度	70	2,362
19年度	101	2,711

給を行うことになっていきます。

質問

商工業者は消費・景気低迷、原油高による資材価格等の高騰で、大変苦しい経営を強いられている。

利子補給は、商工業者にとって大変助かっており、次年度も続けるべきと思うがどうか。

町長

行財政改革をやっているのですが、商工振興という意味で、引き続き5年間の立法措置を継続していけるよう努力したいと思います。

うとしていいのか。

町長

雑木（無料還元）は43名の希望者に引渡しました。ほとんどが燃料用で、灯油等の値段が高騰している状況から住民からは大変喜ばれました。昨年度は町独自の歳末一時金と、共同募金の歳末助け合い運動と連動し福祉灯油に配慮し対応しました。

本年度の福祉灯油補助対象は50万円ですが、国・道の助成制度の動向を見極めながら対応したいと思えます。関係する共同募金会や民生員協議会等と十分協議しながら、生活弱者の適切な支援策となるよう、鋭意努力したいと考えています。

質問

各地では65歳まで年齢を下げたり、従来は1万円のものの上げたりなど、町村独自の施策をとっているようだが、どうせやるのであれば、町民に喜ばれる施策を取るべきだと思いが。

福祉課長

現在、70歳以上か75歳以上か、対象を検討しています。福祉灯油と歳末助け合い運動をうまく連動させて、できるだけ広くわたるよう関係団体と協議し進めたいと思います。

町長

ただいまの意見は十分に参考にし、これから煮詰めていきます。

定住化対策に もっと努力すべき

町長 可能性を最大限
探りたい

質問

移住・定住の「ちよつと暮らし」事業は、道と市町村が平成18年から体験移住事業として取組み、本年9月で113の市町村がワンストップ窓口として登録し、管内では増毛町と小平町が登録している。

この事業は、首都圏などの移住希望者に、数週間から2か月程度生活してもらおうもので、一般的な観光事業とは異なり、買物や理美容院の利用もあるため、受入れ先は経済効果もあるとされている。

なぜ本町はこの事業を活用し、人

口増加による経済の活性化や、将来の定住化対策に意を注がないのか。

町長

この事業に参加はしていませんが、昨年10月に設立された全国組織の移住・交流促進機構で情報発信しています。

この事業は、住宅の確保と生活用具の整備が必要であり、本町では住宅の確保が難しく、生活用具の整備も必要ですので、状況に応じて検討していこうと思っています。

質問

滞在型観光を大いに進め、少しでも多くの人を呼び寄せる対策をとるべきではないか。

宿泊施設は、総務常任委員会で公共施設の利用状況も調べたが、振老の学校跡地は完全に空いている。生活用具等は、本人達が持ち込んで泊まっている。公営住宅でさえも借りていてところがある。もう少し研究して、受入れ人口の増加を図ってはどうか。

町長

地域的な魅力の差が背景にあり、道南・道東のPR力が効を奏しているのと聞いています。道北は全然音沙汰なく、もつと力を入れてPRをすることが、今後の課題にもなっていると思います。

当面、町として何ができるのか可能性を最大限探りたいと思います。

遠藤 功 議員

一般質問

姉妹都市ホーム市との 今後は

町長 人的交流を継続したい

質問

昭和58年、アラスカ州ホーム市と姉妹都市として提携以来、国際化社会の一員になってきていることは大変喜ばしいことであるが、今後も相互協会による人的交流を主体として行くのか、時代に合った新しい方向性を模索・検討していくのか。

国際交流の町として、教育の観点からも、道の駅などの公告表示等を英文で表示するなど総合的に見直し改善すべきと考えるがどうか。

町長

姉妹都市提携・国際交流は、次代



歴史資料館2階にある「姉妹都市コーナー」

質問

財政が厳しい中でも、ホーム市との友好交流を継続していくというのなら、まずは天塩の歴史を知ってもらう場所である歴史資料館の展示・資料だけでも優先的に英文化しはどうか。

町長

町として、当面できるものから始

遠藤 功 議員

一般質問

議会への行政報告は 積極的に

町長 町民に理解されるよう
努めたい

質問

町長就任後、国、道などへ陳情、要望した件数とその内容は。

町長の動向を議会へ行政報告すること、開かれた行政になると思うがどうか。

第6次総合振興計画の策定の指針

めて、できる限りのサービスに努める方向で検討したいと思えます。資料館は、ホーム市の展示物があるわけですから、分かり易い内容になるよう努力をしていきたいと考えています。



とするものは何なのか。

町長

陳情・要望は、○留萌地域総合開発期成会、○一般国道40号名寄・稚内間の整備促進期成会、○天塩川治水促進期成会、○天塩高校の2学級継続募集、○自衛隊施設誘致、○酪農乳価、○医師の招へいなど、国・道など数回にわたり行っています。

このほかにも、日常的に懸案事項の要望を行っており、多くの事業が明るい見通しとなつてきています。

行政報告は、重要事項は議会で行っているつもりですが、今後のあり方について検討したいと思います。

総合振興計画は、これまでのまちづくりを継承しつつ、自主自立を目指しながら、長期的展望に立ち、行政改革と効率化の推進、基幹産業等の活性化を目指し、町民と行政が

一体となった協働のまちづくりを進めたいと考えています。

質問

3月議会で質問した、拓水幹線明渠排水の協議はどうなったのか。

現在、国道バイパスの南側に防雪柵工事が実施されているが、冬になると防雪柵で完全に西側と東側が遮断されてしまい、町が設置した観光看板など西側が全く見えなくなる危険性がある。どのような申入れ、働きかけをしたのか。

また、道道円山天塩停線（六志内通）の歩道は、雑草に埋まり使えない。早急に維持管理を道に行う必要があると思うが。

行政報告をすれば、議会広報に載せられ、町長の姿勢を広く町民に見せることができる。議場は、住民に対し報告できる場所であるから、細か

く行政報告をしてはどうか。

農林水産課長

拓水幹線事業は、開発との協議で単独では難しいということで、ほかの事業と一緒にできないかの検討をしてみらっています。

町長

防雪柵は具体的に把握していません。交通事故防止を含め、現場等良く点検して要望すべきものはしていきたいと考えています。

道道円山天塩線の歩道は、土現に強く要望していきます。

行政報告は決定した行政上の事項や、ある程度緊急を要するものを報告していましたが、町の行動・考えを積極的に町民に分かってもらえよう、これからも努めていきます。

次の5件の意見書は可決後、直ちに国などの関係機関に提出しました。

道路整備に必要な財源の確保に関する意見書

- 道路特定財源の一般財源化に当たり、地方道路の財源を確保すること。
- 高規格幹線道路の整備や安全で安心な冬期交通を確保すること。
- 地方道路整備臨時交付金制度の継続・拡充を図ること。
- 暫定税率失効に伴う地方道路整備財源の減少分を措置すること。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎地域は、都市の食糧の供給・水資源の供給、地球温暖化の防止などの多面的・公共的機能を担っている。現行法を継続し、総合的な過疎対策を充実強化させる新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

原油価格高騰に関する意見書

- 農業生産資材の価格高騰対策。
- 漁業用燃油の負担軽減制度の創設。
- 林業生産・木材加工への支援。
- 家庭用灯油の価格安定対策・推進。
- 児童・老人福祉施設等における安心な生活の場の確保。
- 中小企業の経営安定化対策。
- 地方公共団体の追加的な財政需要への支援、など強く要望する。

特例一時金を50日分に戻し、季節労働者対策の強化を求める意見書

- 雇用保険の特例一時金を50日分に戻すこと。
- 自治体における季節労働者対策の冬期事業拡充のために、特別交付税など財政措置を講ずること。

北海道開発の枠組みの堅持ほか要望に関する意見書

- 公共事業予算の一括計上、北海道特例措置、北海道局・北海道開発局という現行の「北海道開発の枠組み」を堅持すること。
- 特に格差の著しい北海道への重点配分を行うこと。
- 税制の抜本的な見直しによる地方財政の充実を早急に図ること。
- 高規格幹線道路網の整備促進。

第5回町議会

臨時会

8月18日

一般会計補正予算(第2号)

税源移譲による税等過誤納付金の返還金として230万8千円を追加。

介護(保険事業) 会計の承認

3月議会で議決した予算書の訂正。

国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

安定的な財源の確保、林業・木材産業の振興施策の推進、木材の供給体制の確保、国有林野事業の国による管理運営体制の堅持。

各会計決算特別委員会

平成19年度各会計決算は、決算特別委員会（渡辺委員長）に審査を付託し、本会議を休会し集中的に審議しました。その審議内容を紹介します。

【監査意見書】

遠藤委員

（一般会計）予備費から多額の予算が充用・流用されている。全ての事業に、緊急性があつたのか。

伊藤監査委員

予備費の充用・流用に関して、年度末ということで議会に付議する時間的余裕がなく良好とした。

【軽自動車税の滞納】

遠藤委員

軽自動車税の収入未済額11万1千400円は徴収できるのか。

住民課長

7月末で残り9万3千円が未納となつている。徴収体制を充実させ、滞納者には、厳しく督促したい。

【雄信内保育料の滞納】

遠藤委員

収入未済額19万7千500円はどういう内容か。

福祉課長

現在、残り1件で16万4千500円ある。引き続き徴収をしていく。

【住宅料の滞納】

遠藤委員

住宅使用料の未納918万9千円は前年対比で徴収率が落ちている。今後の対策は。

住民課長

8月20日までに179万6千円を徴収した。本人呼出しや保証人、会社へも訪問しており、少しでも払ってもらおうよう話し合いを続けていく。

【土地貸与と生産物売払収入】

遠藤委員

①土地建物貸付収入の収入未済額14万6千円は何か。

②生産物419万9千円減額した理由。

行政改革課長

①貸地料3件で、現在2件が納入し、あと1件が未収になっている。
農林水産課長

②予定していた面積の減と、1番草

しか収穫しなかつた分を減額した。

【諸収入・延滞金】

遠藤委員

延滞金は取るべきと考えるが。

副町長

担当課と協議し来年に向けて検討したい。

【障がい者の雇用】

遠藤委員

自治体は、障害者雇用促進法に基づき障がい者を雇用する規定になつているが、本町の雇用状況は。

総務課長

天塩町は、障がい者の雇用は2人であり基準を満たしている。

【予備費の充用】

遠藤委員

①29万9千800円、町有地の境界埋設資金の不足とあるが、充用までしてやる理由は何か。

②財調基金の利息積立金に不足を生じたとあるが、こういうことがあり得るのか。

行政改革課長

①用地確定の境界の埋設杭を打つ資金が必要だった。

②ペイオフ対策で無利息の決済性預金をしていたが、普通預金に積替えたことで利息が発生した。

【保育所施設の修繕】

単位：千円

平成19年度 天塩町各会計決算総括表

会計名	予算現額	歳 入				歳 出			差引額
		調定額	収入済額	不納欠損	収入未済	支出済額	翌年繰越	不用額	
一般会計	4,125,097	4,147,647	4,113,758	799	33,090	4,078,536	16,711	29,850	35,222
国保会計	520,954	579,420	535,169	1,669	42,582	518,756		2,198	16,413
水道事業会計	278,605	280,826	278,367		2,459	273,387		5,218	4,980
老人保健会計	456,963	455,612	455,612		0	421,000		35,963	34,612
下水道会計	251,248	252,564	251,782		782	250,716		532	1,066
介護（保険）	327,890	334,034	333,488		546	321,033		6,857	12,455
介護（サービス）	298,845	305,758	305,758		0	297,140		1,705	8,618
合 計	6,259,602	6,355,861	6,273,934	2,468	79,459	6,160,568	16,711	82,323	113,366

遠藤委員

暖房設備故障で360万円充用されている。なぜこの状況が発生したのか。

福祉課長

20年1月5日、年末年始の休暇中にボイラーが停止した。7日から保育所が始まるため、直ちに故障箇所を確認し管の取替工事をした。

【観光協会補助金】

遠藤委員

秋の味祭は、どういう考え方で19年度で終わったのか。

企画商工課長

観光協会では、鮭の魅力が薄れてきているということで、鮭のほかに農産物、果物を含めて新たに味覚祭にしようということになった。

【公園管理委託費】

遠藤委員

燃料費の高騰による影響は。

企画商工課長

燃料費について委託業者から特に話はなかった。適性に予定どおり執行されたと思っっている。

【図書購入費】

遠藤委員

中学校図書購入費の交付税措置はどうなっているのか。

19年度25万円ほど予算をみており、

24万4千円の決算である。交付税上の需用額は85万2千円である。

【運動公園の牡丹園】

遠藤委員

牡丹園の場所が分かりづらい。また、ログハウスのトイレも使える状態になっていないが。

町長

牡丹は風に弱いことから運動公園となった。誘導方法は検討したい。トイレも使えるようにしたい。

【施設の暖房費】

森委員

19年度の暖房費は18年度と比べてどのぐらい多くなったのか。

行政改革課長

19年度の合計額は病院含め5千342万円、18年度は4千768万円である。比較すると574万円増となる。

【燃料の購入方法】

中嶋委員

町の施設で何箇所か、油の大口購入に該当するものがあるはずだ。大口、小口も同じ単価か。

副町長

ガソリン等の納入価格は、入札で決めている。

行政改革課長

油種毎に、年間の使用数量を明示しており、大口の単価だと思っ

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

【調査月日】

4月14日、7月15日

【出席委員】

委員長 中嶋 康治
副委員長 渡辺 修勝
委員 草刈 幸男
委員 寺本 弘之
委員 遠藤 功

●町有財産の利用状況と処分

調査経過

売買された町有地と、公売予定の土地の現地調査を行った。

また、伐採適齢期を過ぎた振老町有林の伐採・売払計画と、町財政への影響を調査した。

調査結果

20年度は陸上自衛隊に売払いを予定しているが、宿营地として今後5か年で3万㎡の土地を購入する計画であることが説明された。

空地である、字川口4536番地と字オヌブナイ3762番地は、通路や駐車場として利用されているが、使用許可等の手続きについて、早急な調査と報告を求めた。

町有林の説明では、伐採による売却で利益が出るが、造林や保育経費

で不足が生じるとした。委員からは伐採は必要とするが、造林には異論が多く、適否の判断は今秋の立木調査後の報告を待つこととした。

●公共駐車場管理状況

調査経過

公共駐車場として目的どおり利用されているか、融雪後の時期を待つて調査を行った。

調査結果

厳島公園、緑陽団地、バス待合所、中央町民会館、ミレニアムパークを現地視察した結果、利用は概ね適正であり、長期間放置された車両等は見受けられなかった。

●学校財産の利用状況

調査経過

社会教育会館7箇所のうち、北産士、泉源、振老の利用状況や管理状況を現地調査した。

調査結果

3箇所とも大きな破損はないが、建物の屋根や壁などに劣化が見られた。職員住宅は24戸のうち17戸が企業に貸付がされていた。

泉源教育会館の敷地内の立木が伐採されていることが判明した。経緯の詳細が不明なため、同行した町長や教育長に、早急な調査と議会や町民への説明を求めた。

今後益々老朽化していく建物の対策を考慮していくよう指摘した。

条例改正

●天塩町ふるさと応援寄附条例の制定

ふるさと納税制度が創設されたことに伴い、天塩町を応援していただく寄附を募り、寄附者の意向を町づくりに反映していくため条例を制定。

施行日 公布の日から

●報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

議員報酬の支払方法と、行政委員等の報酬の支給方法を分離。

●乳幼児医療の給付に関する条例の一部改正

道医療給付事業要綱の改正により、本町も10月1日から、小学生の入院費用まで助成を拡大。

●重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

道医療給付事業要綱の改正により、精保手帳所持者のうち1級該当者

まで給付対象を拡大。

●北海道市町村備荒資金組合規約の変更

財政再生団体となることを回避するための措置として、赤平市から普通納付金の取崩し要請があり、特例制度を創設。

●天塩町議会会議規則の一部改正

法律改正に伴い、議案の審議や議会の運営に関し、協議、調整を行うための場として全員協議会を規定。

施行日 平成20年10月1日

同意

●教育委員会委員の任命

(任期 平成20年10月1日)

平成24年9月30日 (4年)

・下澤 昇 氏 (58歳・再)
・橋本 清美 氏 (40歳・新)

●固定資産評価審査委員会委員の選任

(任期 平成20年10月1日)

平成23年9月30日 (3年)

・和田 昇 氏 (63歳・再)

議会を傍聴しませんか

次の定例会は
12月11日

からの予定です

議会広報特別委員会

委員長 遠藤

副委員長 川端

委員 渡辺

功

英嗣

修勝

8月

- 11 議員協議会〔全議員〕
- 12 自由民主党第10区移動政調会〔議長〕
- 15 天塩町戦没者追悼式〔議長〕
天塩川港まつり・母なる川祈願祭〔議長〕
- 18 第5回町議会臨時会〔全議員〕
議会広報研修会〔～19, 札幌市, 全委員〕
- 19 佐藤第2師団長を囲む会〔留萌市, 議長〕
- 30 第1特科団・北千歳駐屯地創隊観閲式〔～31, 千歳市, 議長〕

9月

- 9 議会運営委員会〔全委員〕
議員協議会〔全議員〕
- 12 天塩町敬老会〔議長〕
- 18 第6回町議会定例会〔～19, 全議員〕
- 19 飯島ゆかり衆議院議員との懇談会〔議長〕
- 12 議員協議会〔全議員〕
- 27 第22回札幌雄信内会〔～28, 後藤議員〕

10月

- 3 全員協議会〔全議員〕
- 6 道内議員研修〔～9, 鹿追ほか, 9議員〕
- 13 自民党北海道第10選挙区支部政経セミナー〔羽幌町, 議長〕
- 18 北部方面隊56周年記念祝賀会〔～19, 札幌市, 議長〕
- 28 懸案事項要請〔札幌市, 議長〕
議会広報特別委員会〔全委員〕